

## 韓国

### マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が9月4日に公表した2014年第2四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比0.5%（年率換算2.0%）で、前期の同0.9%から低下した。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同▲0.2%で前期の同0.1%からマイナスに転じた。固定資本形成は同▲0.2%で、やはり前期の同3.2%からマイナスに転じた。その内訳では、建設投資は同0.4%で前期の同5.1%から大きく低下した。一方、設備投資は同1.1%で前期の同▲1.9%からプラスに転じた。外需である財・サービスの輸出は同1.7%で前期の同1.5%を上回った。

2014年第2四半期の鉱工業生産指数の伸び率は季節調整値で前期比▲1.1%となり、前期の同0.3%からマイナスに転じた。月次では季節調整値で、2014年6月は前月比2.7%、8月は同1.2%となっている。

2014年第2四半期の失業率は季節調整値で3.7%となり、前期の同3.6%を上回った。月次では同じく季節調整値で、2014年6月は3.6%、7月は3.4%、8月は3.5%となっている。

2014年第2四半期の貿易収支（IMF方式）は264億ドルの黒字であった。月次では、2014年6月は66億ドル、7月は69億ドルのそれぞれ黒字である。

対ドル為替レートは2014年3月に1ドル=1,071ウォン、4月に同1,043ウォン、5月に同1,024ウォンと推移している。

消費者物価上昇率は6月に前年同月比1.7%、7月に同1.6%、8月に同1.4%と推移している。生産者物価上昇率は6月に前年同月比0.1%、7月に同0.2%と推移している。

### 今後の展望

韓国銀行は7月10日に経済見通しを発表し、2014年の成長率を3.8%とし4月時点の4.0%から下方修正した。また

2015年の成長率は4.0%で、やはり4月の4.2%から下方修正している。

2014年の予測成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.3%で前年の2.0%を上回ると見込んでいる。また、投資では設備投資が5.7%で、前年の▲1.5%からプラスに転ずるとしている。建設投資は1.7%で、前年の6.7%から大きく低下するとしている。外需である輸出は6.1%で、前年の4.5%を上回るとしている。

また、2015年の予測成長率を需要項目別に見ると民間消費は3.6%と堅調に伸びるとしている。また、投資では設備投資が6.3%で、2014年を上回り、建設投資は7.0%で2014年並みの水準を維持するとしている。外需である輸出は7.5%で、2014年を上回るとしている。

失業率は2014年には3.5%で2013年の3.1%から上昇するが、2015年には3.3%に低下するとしている。雇用者数の増加は2013年39万人から、2014年は50万人、2015年は45万人と拡大すると見込んでいる。

一方、消費者物価上昇率は前年の1.3%から高まり、2014年には1.9%となり、2015年にはさらに上昇して2.7%となると予測している。

### 迷走続く政治状況

4月の旅客船セウォル号沈没事故を契機に、韓国の政局は混迷を深めている。

遺族の求める「真相調査特別委員会」への捜査・起訴権の付与を巡り、国会の与野党は対立を続けており、このため5月3日以降、新たな法案は一件も成立していない。

朴政権が景気対策として打ち出した41兆ウォン規模の財政支出を含む景気対策関連法案も、成立の見通しが全く立っておらず、経済運営にも直接的な影響が生じかねない状況となっている。

（ERINA調査研究部主任研究員 中島朋義）

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	13年7-9月	10-12月	14年1-3月	4-6月	2014年6月	7月	8月
実質国内総生産(%)	0.3	6.3	3.7	2.3	3.0	1.1	0.9	0.9	0.5	—	—	—
最終消費支出(%)	1.2	4.1	2.3	2.2	2.2	0.9	0.6	0.1	▲0.2	—	—	—
固定資本形成(%)	▲1.0	5.8	▲1.0	▲0.5	4.2	1.1	▲0.7	3.2	▲0.2	—	—	—
鉱工業生産指数(%)	▲0.1	16.3	6.0	1.3	0.4	0.1	1.9	0.3	▲1.1	2.7	1.2	—
失業率(%)	3.6	3.7	3.4	3.2	3.1	3.0	3.0	3.6	3.7	3.6	3.4	3.5
貿易収支(百万USドル)	47,814	47,915	29,090	49,406	80,569	23,877	24,618	17,745	26,428	6,647	6,860	—
輸出(百万USドル)	363,534	466,384	555,214	547,870	559,649	136,791	146,367	137,590	—	—	—	—
輸入(百万USドル)	323,085	425,212	524,413	519,584	515,586	126,034	133,062	132,378	—	—	—	—
為替レート(ウォン/USドル)	1,276	1,156	1,108	1,127	1,095	1,111	1,062	1,069	1,029	1,019	1,021	1,025
生産者物価(%)	▲0.2	3.8	6.7	0.7	▲1.6	▲1.4	▲0.9	▲0.6	▲0.1	0.1	0.2	—
消費者物価(%)	2.8	3.0	4.0	2.2	1.3	1.4	1.1	1.1	1.6	1.7	1.6	1.4
株価指数(1980.1.4: 100)	1,683	2,051	1,826	1,997	2,011	1,997	2,011	1,986	2,002	2,002	2,076	2,069

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2005年基準、消費者物価は2010年基準

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

(出所) 韓国銀行、統計庁他